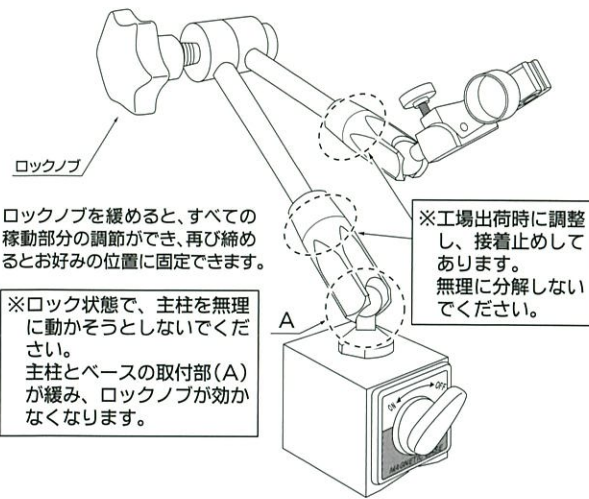


6 TMG-100N/TML-25の場合

例) TMG-100N



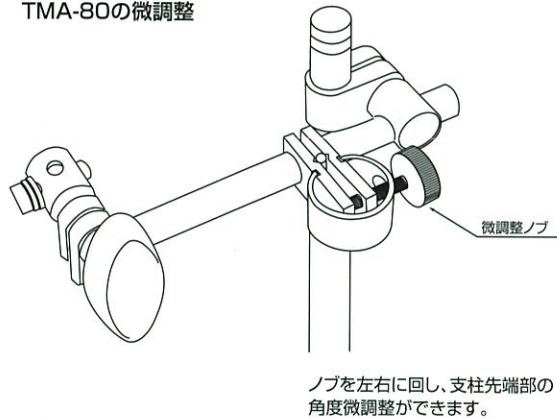
ロックノブを緩めると、すべての稼動部分の調節ができ、再び締めるとお好みの位置に固定できます。

※ロック状態で、支柱を無理に動かさずとしないでください。支柱とベースの取付部(A)が緩み、ロックノブが効かなくなります。

※工場出荷時に調整し、接着止めしてあります。無理に分解しないでください。

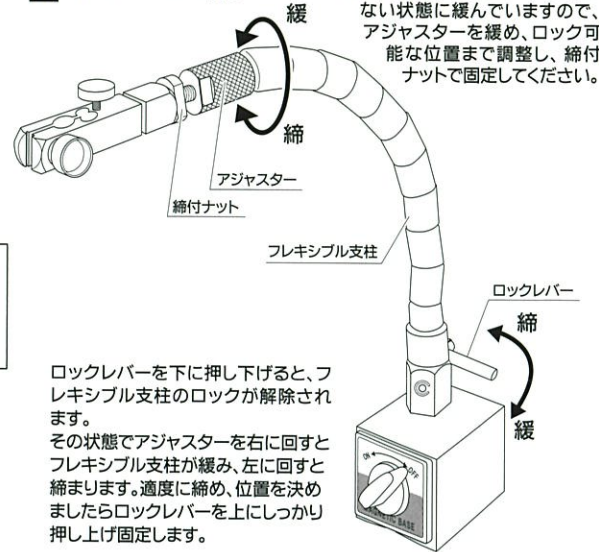
最後に微調整を行います。(TMA-80/TMG-100N/TMF-80N)それぞれ下図のように調整します。

TMA-80の微調整



ノブを左右に回し、支柱先端部の角度微調整ができます。

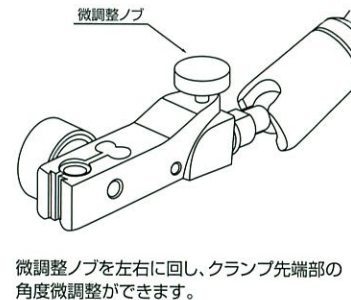
7 TMF-80Nの場合



※お届け時はロックレバーが効かない状態に緩んでいますので、アジャスターを緩め、ロック可能な位置まで調整し、締付ナットで固定してください。

ロックレバーを下に押し下げると、フレキシブル支柱のロックが解除されます。その状態でアジャスターを右に回すとフレキシブル支柱が緩み、左に回すと締まります。適度に締め、位置を決めましたらロックレバーを上をしっかり押し上げ固定します。

TMG-100Nタイプの微調整



微調整ノブを左右に回し、クランプ先端部の角度微調整ができます。

5 保管について

☆強い磁界が発生します

●必ずOFFにして保管してください。ONのまま吸着面に鉄板を吸着させておきますと、不用意な吸着による事故につながります。

弊社では、常により良い製品を目指し、仕様・デザイン・生産技術等、あらゆる面でさまざまな改良を積み重ねております。つきましては、この取扱説明書に記載している仕様は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

総発売元 トラスコ中山株式会社 お客様相談室 ☎0120-509-849
E-mail: techno.center@trusco.co.jp

MADE IN CHINA <https://www.orange-book.com/>

E229-K 2306500GR

ご不明な点は、お買い上げの販売店が弊社お客様相談室にご相談ください。※この取扱説明書の無断転用を禁じます。



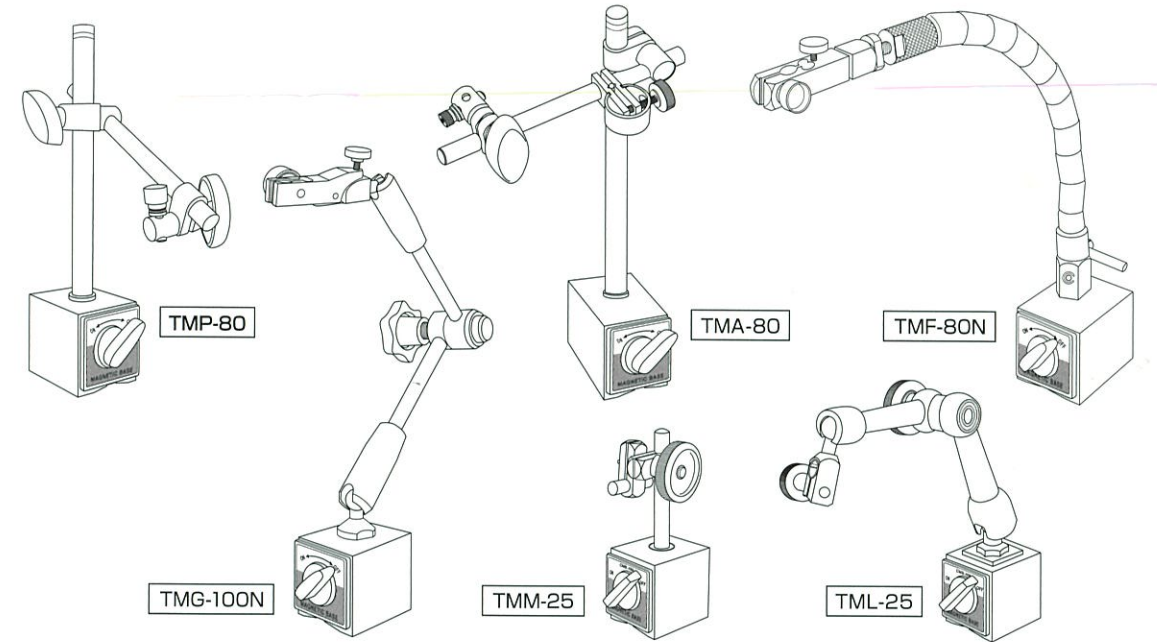
Magnetic Base

マグネットベースシリーズ

TMP-80、TMA-80、TMF-80N、TMG-100N、TMM-25、TML-25

この度は **TRUSCO** 製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお読みください。

取扱説明書



1 安全上のご注意

(1) 強い磁界が発生します

●時計などの精密機器や磁気カードを近づけると、その機能を損なう恐れがあります。●ペースメーカー使用者は、マグネットツールを取扱わないでください。

(2) 強い磁気力を発生します

●不用意に鋼板などを近づけると、強い吸着力のために、急に引き付けられ、指先等、ケガをする危険があります。手袋の使用等、身体の安全に心掛けてください。

(3) 吸着力は大きく変化します。

●吸着対象物が薄いと、吸着力が低下します。●軟鋼板以外の物質では、吸着力が低下します。●吸着する面に凹凸やゴミの付着、塗装などによるすき間があると吸着力が低下します。●吸着する力に比べ、吸着物が横滑りする力のはるかに大きくなります。垂直な面に吸着させる時には特に注意が必要です。●機械の振動によって吸着物は滑りやすく、はがれやすくなります。

(4) ご使用に際しては、まず対象物に吸着させてみて、用途に足りる吸着力であることを必ず確認してください。

(5) マグネット本体を支えてON-OFF

●不用意にON-OFF切替スイッチを操作すると、突然磁力が消えて、落下したり、倒れたりして、事故を引き起こす危険がありますので、本体を支え、ON-OFF操作をしてください。

(6) 使用後の保管は磁力に注意

●必ずOFFにして保管してください。(ONのまま吸着面に鉄板を吸着させておきますと、不用意な吸着による事故につながります。)

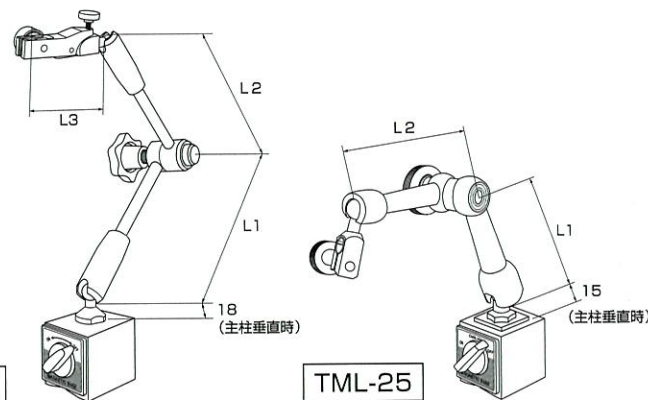
(7) 本マグネットは、工業用に設計・製作された強力なツールです。

●本製品は、工業用に設計・製作されておりますので、一般家庭やオフィスで使用される場合は十分注意してお使いください。

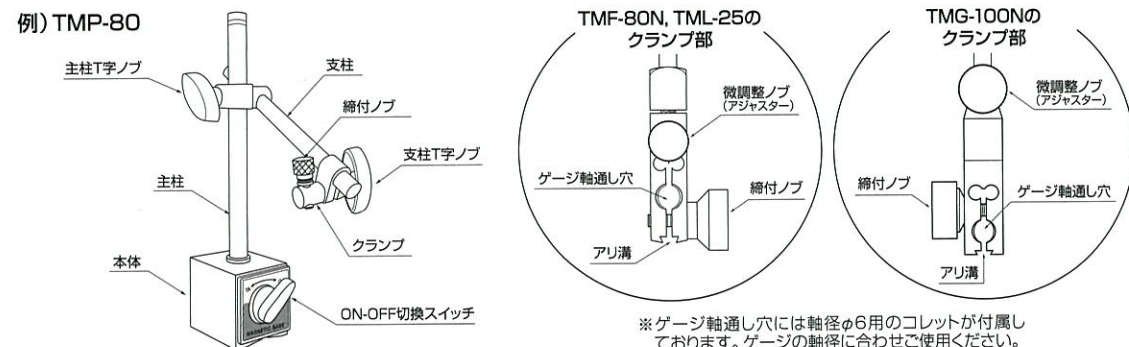
2 仕様

品番	仕様	ダイヤルゲージ取付穴	吸着力	本体寸法 W×D×H mm	支柱寸法 φ×L mm	支柱寸法 φ×L mm	支柱取付ネジ径	質量 (g)
TMP-80	標準型 太支柱タイプ	φ6.0mm / φ8.0mm / 耳金付 ダイヤルゲージ用	800 N	50×60×55	14×178	12×165	M8	1500
TMA-80	標準型 アジャスター付	φ6.0mm / φ8.0mm / 耳金付 ダイヤルゲージ用	800 N	50×60×55	12×176	10×150	M8	1400
TMF-80N	フレキシブル 支柱タイプ (アジャスター付)	φ6.0mm / φ8.0mm / アリ溝付	800 N	50×60×55	16×340	—	M8	1300
TMG-100N	ロックタイプ (アジャスター付)	φ6.0mm / φ8.0mm / アリ溝付	1000 N	50×75×55	L1×L2×L3 145×125×68 (イラスト参照)	—	M8	1700
TMM-25	ミニタイプ	φ6.0mm	250 N	30×35×35	7×54	—	M5	270
TML-25	ミニロックタイプ	φ6.0mm / φ8.0mm / アリ溝付	250 N	30×35×35	L1×L2 64×55 (イラスト参照)	—	M5	420

注意) 小型タイプに大型のダイヤルゲージなどを取り付ける場合、ダイヤルゲージの重さに対し、マグネットの吸着力が不足していないか確認して取り付けてください。吸着力不足の場合マグネットが不意に脱落し、機器の破損につながります。



3 各部の名称

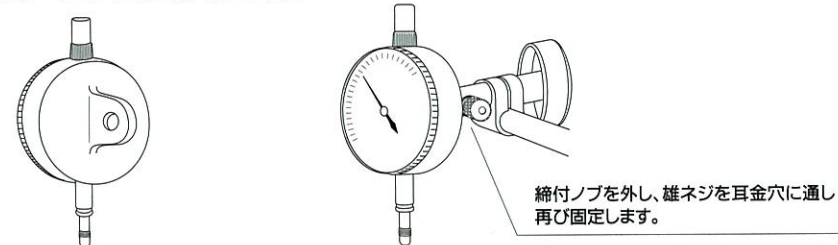


4 使用方法

1 付属のクランプに取り付可能なダイヤルゲージなどをご用意ください。(適応するタイプは 2 仕様欄をご確認ください) マグネットは本体のON-OFF切替により脱着可能です。

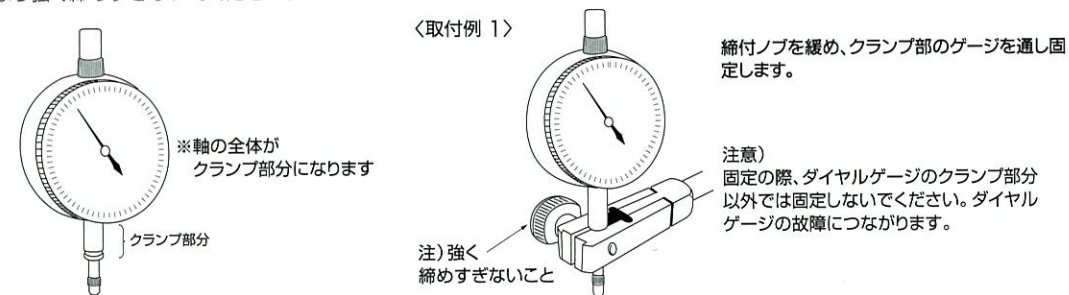
- ※ダイヤルゲージの耳金に取り付ける場合 (TMP-80/TMA-80) ⇒ 2 を参照してください。
- ※ダイヤルゲージの軸に取り付ける場合 ⇒ 3 を参照してください。
- ※ダイヤルゲージのアリ溝に取り付ける場合 (TMF-80N/TMG-100N/TML-25) ⇒ 4 を参照してください。

2 ダイヤルゲージの耳金に取り付ける場合

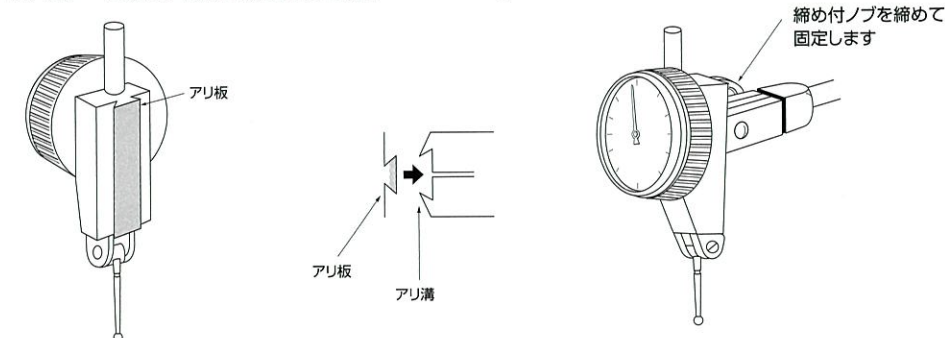


3 ダイヤルゲージの軸に取り付ける場合

※あまり強く締めすぎないでください。



4 テストインジケータ等をアリ溝に取り付ける場合



測定器具などを取り付けた後、支柱、支柱の各ハンドルを緩め、お好みの位置に調整してください。

- ※TMP-80/TMA-80/TMM-25の調整法⇒ 5 を参照してください。
- ※TMG-100N/TML-25の調整法⇒ 6 を参照してください。
- ※TMF-80Nの調整法⇒ 7 を参照してください。

5 TMP-80/TMA-80/TMM-25の場合

